

使用済み商用車架装物 解体マニュアル  
廃液汚泥吸引車  
(グリットスイーパー®)

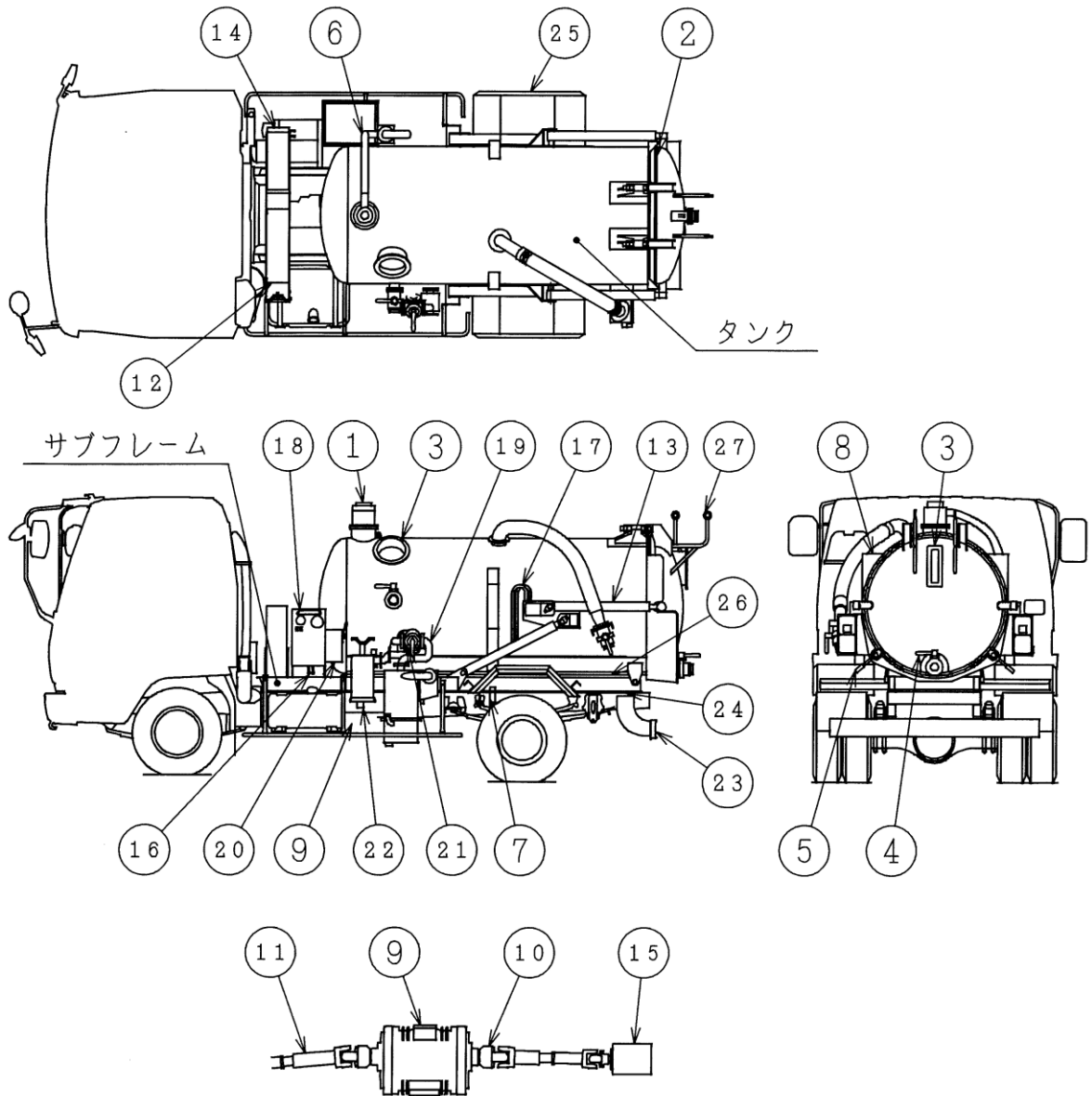
1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル（新明和工業株式会社 共通編）」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

内 容

1. 汚泥吸引車架装物の構造概要
2. 汚泥吸引車架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

新明和工業株式会社

# 1. 汚泥吸引車架装物の構造概要



(注記) 上図は一般的な汚泥吸引車を例に表示しており、車格及び仕様により形状等が異なる場合があります。

品目表

番号	品目名称	番号	品目名称	番号	品目名称	番号	品目名称
1	満量装置	9	真空ポンプ	17	油圧ホース・配管	25	フェンダー
2	テールゲートパッキン	10	フランジ	18	操作盤	26	クッション(受木)
3	点検口、点検窓	11	ドライブシャフト	19	空気配管	27	ホース収納具
4	バルブ	12	スペアタイヤキャリア	20	アクセルケーブル		
5	テールゲートロック	13	油圧シリンダー	21	バルブ(切替用)		
6	連結用ホース	14	作動油タンク	22	バルブ(ドレン)		
7	締結具	15	油圧ポンプ	23	リヤバンパー		
8	テールゲートカバー	16	油圧バルブ	24	フレームスペーサー		

## 2. 泥吸引車架装物の解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注記事項
	事前処理Ⅰ	タンク内積載物の残物の洗浄、清掃処理を専門業者にて実施する。	解体マニュアル（共通編）を参照願います。
	事前処理Ⅱ	真空ポンプ及び油圧シリンダー、油圧ホース・配管、油タンク等の油を抜き取り、廃油は専門業者にて処理する。	[油量] 小・中型は 約 40L 大型は 約 100L
	事前処理Ⅲ	主要な外装部品を取り外す。	
車両全体	架装物	締結具等のボルトを取り外し、シャシと架装物を切り離します。	シャシ側とつながっているドライブシャフトを切り離す。
架装物	タンク本体	溶断、切削等により、裁断し材料により分別します。	
架装物	サブフレーム本体	同上	
1	満量装置	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
2	テールゲートパッキン	取り外し、ゴム類に分別します。	
3	点検口、点検窓	金属類とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別します。	
4	バルブ	金属類とゴム類に分別します。	
5	テールゲートロック	同上	
6	連結用ホース	同上	
7	締結具	取り外し、分別します。	
8	テールゲートカバー	同上	
9	真空ポンプ	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	ドレン等から残液を抜く。
10	フランジ	取り外し、分別します。	
11	ドライブシャフト	同上	
12	スペアタイヤキャリア	同上	
13	油圧シリンダー	金属類とゴム、樹脂類に分別します。	取り外して、油を抜く。
14	作動油タンク	同上	ドレンから油を抜く。
15	油圧ポンプ	金属類とゴム類に分別します。	取り外して、油を抜く。
16	油圧バルブ	同上	取り外して、油を抜く。
17	油圧ホース・配管	同上	取り外して、油を抜く。
18	操作盤	金属類とゴム類、樹脂類、ガラス類に分別します。	
19	空気配管	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
20	アクセルケーブル	金属類とゴム類、樹脂類に分別します。	
21	バルブ（切替用）	同上	
22	バルブ（ドレン）	同上	
23	リヤバンパー	同上	
24	フレームスペーサー	同上	
25	フェンダー	同上	
26	クッション（受木）	金属類と樹脂類に分別します。	
27	ホース収納具	取り外し、分別します。	

## 3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項等がございましたら下記までお願い致します。

新明和工業株式会社 特装車事業部 開発部

TEL : 0283-23-2226

以上